

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

全国セミナー 報告書

2019（令和元）年5月14日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」全国セミナーが開催されました。当日は、36地域の担当者の方々に加え、本事業への参画を検討している地域の担当者の方々にも参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年5月14日（火）14時00分～17時00分

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 会議室、116 教室

主催：筑波大学、早稲田大学、日本体育大学

参加者：49 名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶 スポーツ庁 審議官 藤江 陽子 氏

14:05～14:25 本事業の概要説明
筑波大学体育系 教授 真田 久 氏
スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 軍司 菜実子 氏

14:25～15:20 関係団体事業および教材等について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 企画財務局 アクション&レガシー部
担当課長（教育担当） 塩見 絢子 氏
東京都教育庁 指導部 指導企画課
指導主事 小宮山 詠美 氏
日本オリンピック委員会 オリンピック・ムーブメント推進部
オリンピックミュージアム準備室 主事 下湯 直樹 氏
日本パラリンピック委員会／日本財団パラリンピックサポートセンター
マセソン 美季 氏
内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
参事官 御手洗 潤 氏

15:20～15:30 休憩・移動

15:30～16:30 全国中核拠点（担当大学）と各地域拠点の打ち合わせ

16:30～16:35 移動

16:35～17:00 全体共有と質疑応答

開会行事では、スポーツ庁審議官の藤江陽子氏より挨拶がありました。2020 年に向けて、そして大会後のレガシーを残せるような持続可能な取り組みを実施して欲しい、と本事業の方向性を示されました。

続いて、真田久氏（筑波大学教授）より、本事業の背景や概要について説明がありました。次に、軍司菜実子氏（スポーツ庁）より、今年度の取り組みの方針に関する説明がありました。さらに、関係団体からオリンピック・パラリンピック教育を実施する際に参考となる情報提供が行われました。塩見絢子氏（東京 2020 組織委員会）からは東京 2020 教育プログラム「ようい、ドン！」等について、小宮山詠美氏（東京都教育庁）からは東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育の関連事業等について、下湯直樹氏（日本オリンピック委員会）からは 2019 年秋に開館する「オリンピックミュージアム」について、マセソン美季氏（日本パラリンピック委員会他）からは「I'm POSSIBLE」について、そして、御手洗潤氏（内閣官房東京オリパラ推進本部）からは「ホストタウン」の推進について説明がありました。



全体会の様子

その後、別室にて、全国中核拠点の大学と各担当地域拠点の担当者が打ち合わせを行いました。はじめに、岡田悠佑氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）より本事業の推進方針や今年度から推進校で行なうアンケート調査の実施方法等について説明がありました。その後、各地域拠点の担当者の方から、本年度のキーワードである「継続性」という視点から本年度の事業計画の紹介が行われました。全ての地域拠点において、各地域の特性を活かした「継続性」を意識した事業計画が立てられていることが確認されました。また、推進校の公募の効果的な意見交換が行われました。どちらの議題に関しても、他の研修や会議等における情報発信や身近な人のつながりを有効に活用することなどが意見として出されました。最後に、再び全ての推進地域が集まり、打ち合わせの内容に関する情報共有が行われ散会となりました。オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて、今年度の第一歩として有意義なセミナーとなりました。



地域拠点担当者との打ち合わせの様子